



DANONE NATIONS CUP

ダノン・ネーションズカップのルール

「ダノン・ネーションズカップ」は、ダノン社による主催で、2000年から開催されているFIFA公認の少年少女のための国際サッカーイベントです。サッカーの技を競うだけでなく、フェアプレーの精神とチームメイトへの思いやり、そして見知らぬ人々と友情をはぐくむことを目的とし、世界中のサッカー選手（10～12歳の少年少女）から32カ国、512人の選手によるトーナメントを行います。

【試合方式】

出場32チームが4チームごとに8組にわかれてリーグ戦を行い、各組上位2チームが決勝トーナメント（ベスト16）に進出。

【大会ルール】

- ・ 9人制
- ・ ハーフタイムなしの20分
- ・ ピッチサイズ：68m×50m（公式サイズの半分）

※このルールは、フランスサッカー協会（FFF）、国際サッカー連盟（FIFA）より承認されています。

【サッカーの歴史】

サッカーは「足でボールをけて相手のゴールをめざすチーム競技」です。サッカーの歴史は非常に古く、むかしは町中で相手のゴールをめざし、ボールをけり、手でボールをはこび、人々が熱狂していました。とてもはげしく危険な為、中世のヨーロッパなどでは、禁止が出されるほどでした。

中世のイタリアでは「カルチョ」、中世のイギリスでは「フットボール」とよばれ、この危険なゲームにしだいにルールがいき、「乱暴なゲーム」から「紳士のゲーム」へと変わり、世界中のルールも統一され現在の形に近づいて来ました。

19世紀のイギリス・ロンドンは世界の商業の中心地でもあり、このイギリスから世界中に商船が出て行き、ボールを持ったイギリス人が世界中にわたり世界に広まったとも言われています。

日本にサッカーが入ったとされるのは1873年で、イギリス海軍の少佐が、海軍兵学校で教えたとされています。